

熊商モード

熊商ホームページ <https://sh.higo.ed.jp/kumamoto-ch/>

熊商デパート

「熊商デパート大盛況に終わる」
10,861名のご来店ありがとうございました。

令和元年11月30日(土)12月1日(日)に「第32回熊商デパート」が開催されました。今年度は平成から令和へと移り変わった節目の年であり、無事に大盛況のうちに幕を閉じました。これもひとえに皆様の御愛顧と御支援によるものと深く感謝しています。日頃学んでいる知識・技術・ビジネスマナーを活かして販売実習に取り組むことで、生徒たちの実践力を高めることができました。心よりお礼を申し上げます。今後多くの方々の御意見を頂戴し、よりよい「熊商デパート」を開催していきたいと考えております。今後とも御指導・御協力の程お願い申し上げます。以下に代表者の一言を載せています。



「熊商デパートを終えて」

熊商デパート実行委員長 (太田)

今年は「新時代の幕開け 礼節でつなぐ笑顔の輪」をテーマに掲げ、時代を繋ぎ、お客様と協賛企業様を生徒たちの笑顔で繋ぐことを目標とし、例年より早く4月からスタートしました。主役はあくまで“生徒”であるという想いから、4月、5月と2回の「熊デパタウンミーティング」を開催し、生徒たちの「やりたい」を確認することができ、新しい熊商デパートの一步を踏みだしました。新しい取組のなかでも「熊デパkids」が今年の大きな変化でした。砂取小学校の5・6年生22名が、各店舗で販売員として活躍しました。熊商生としてもいい刺激や緊張感、成就感があったのは、生徒たちの感想からも窺うことができました。この2日間でたくさんの笑顔が繋がったことは、4月から準備を進めてきたことが報われたのだと思います。生徒の成長を強く感じ、可能性を実感した熊商デパートでした。

最後に、協賛いただいた企業様、ご来店いただいたお客様、砂取小学校のみなさん、ご支援いただいたすべての方に感謝いたします。まだまだ熊商生の伸びしろはあります。そう信じています。

「熊商デパートを終えて」

熊商デパート生徒実行委員長 中村 (生徒会長)

第32回令和最初の熊商デパートを大盛況のうちに終えることができ、実行委員長として安心しています。

今回は、令和最初の熊商デパートということで、「熊デパkids」という小学生と一緒に販売を行うお仕事体験や、いくつかの店舗をリニューアルするなどの新しい取組をしました。成功するかと不安だったのですが、お客様から多くの好評をいただくことができました。1年生は初めての熊商デパートでしたが、何事にも積極的に取り組む姿が印象的でした。2年生は中だるみする学年とよく言われますが、全く感じることなくとても頼りになる存在でした。3年生は3年間の経験と知識を活かし、最高の熊商デパートにしようと努力していました。各学年の皆さんが新しいことに積極的に取り組んでくれて、新時代への素晴らしいスタートを切ることができました。しかし、新しい取組は良い点だけではなく、改善点も多く出てきました。ある店舗の行列が、他の店舗で買い物をされているお客様のところまで来たり、「熊デパkids」の受付所がわかりにくかったりしました。これらの改善点を、ぜひ来年の熊商デパートに活かして欲しいと思います。

昨年は、平成から令和へと変わった時代の節目を迎えた年でした。その年に熊商デパートを無事にやり遂げることができ、また、人として大きく成長することができたと思います。熊商デパートが令和という時代でも、さらなる発展を遂げることを心から願っています。

「熊商デパートを終えて」 3年6組店長 守山 (担当事業所:株式会社 三国屋)
(" : 高田精肉店)

今年度の熊商デパートは、初めての取組が多いと感じました。私自身、屋内と屋外を1店舗ずつ担当することも初めてだったのですが、そのうちの1店舗は今年度から新しく協賛していただく企業でした。他にも、新しく協賛していただく企業が増えて新鮮に感じました。初めは、どのように販売をするのかを考えなければならぬ戸惑いがありました。それでも、企業の方や各部長と何度も話し合うことで、当日無事に販売できました。2店舗を行き来することは大変でしたが、どちらも多くのお客様が来店され、笑顔で帰られた姿を見て嬉しく思いました。私は、コミュニケーションを取ることの大切さなど多くのことを学びました。3年間同じクラスで店長を務めたことは一生の思い出です！

熊本県立 熊本商業高等学校

熊商モード 令和元年度
第5号

令和2年1月31日(金)

発行者: 徳永 憲治

編集者: 企画情報部

〒862-0954

熊本市中央区神水1丁目1番2号

TEL (096)384-1551

FAX (096)386-5040

目次

- 1 熊商デパート
- 2 1年修学旅行
- 3 新・旧生徒会執行部

熊商ホームページ更新履歴

- 強風吹き荒れる (1/27)
- 3年生 短歌 (1/24)
- ランチタイムコンサート (1/23)

熊商ホームページを
ぜひご覧になってください



1年生 修学旅行

令和元年12月16日(月)～19日(木)の3泊4日で、1年生が台湾に修学旅行に行きました。

台湾では、101階建ての「台北101」を見学したり、新北市立樹人家事商業職業学校との交流会を行ったりしました。交流会ではバスケットボールの試合や、熊商生が空手の演武を披露するなど有意義な時間を過ごすことができました。また、台北市内で地元の大学生と自主研修を行いました。日本とは違った、台湾の文化の違いをしっかりと教えていただきました。

修学旅行の感想

私は今回初めて海外の修学旅行に行きました。また私は寮生活をしているので、必要な物の買い出しなど準備も全て1人でした。初めての海外旅行の準備を1人でするのはとても大変でした。台湾での言語の壁が心配でしたが、ガイドの王さんをはじめの方でも日本語を話せてすごいなと思いました。食の違いには1日目の夜かなり驚きました。台湾の食べ物はクセがあると感じました。しかし、ポテトはどのレストランもおいしく食べることができました。そして日本がどれだけ発展した国なのかを実感しました。バスや車の排気ガス、トイレ、道路など日本より不便を感じるものも多くありました。ただ、信号機の赤信号の時、あと何秒なのかが表示されるものは、日本にも欲しいと思いました。日本と台湾の違いを多く発見した4日間でした。帰って来て感じることは、日本の良さでした。日本の良さ台湾の方の温かさに気付くことができました。

私の修学旅行の思い出は、台湾の方々とのアイコンタクト、コミュニケーションをとれたことです。

交流会で出会った学生さんたちや店の店員さん、バスガイドの王さんは本当に対応が温かく安心できたことが、何よりも嬉しかったです。台湾の方々みんなフレンドリーで、太っ腹で陽気な人ばかりでした。ホテルやレストランの食事は口に合うか心配していたけれど、その心配していた気持ちとは裏腹に私は、とても美味しくいただきました。台湾はとても良い所です。でもやはり、日本に帰ってみたら、何とも言えない安心感で一杯になりました。

台湾に修学旅行に行かせてくれた家族や先生方に感謝します。ありがとうございました。学んだことは大きかったし、とても楽しかったです。謝謝

3泊4日の台湾への修学旅行に行って、言葉は分からなくても伝えようとする気持ちが大切だと思いました。また、言葉は分からなくても、理解しようとする気持ちがあれば、会話は成り立つんだなと思いました。今回の修学旅行は海外ということで、最初は楽しみという気持ちより、不安な気持ちの方が大きかったです。いざ行ってみると、今まで見たことのない景色が見え、バスガイドさんがたくさんの事を教えてくださったので、不安な気持ちが少しずつ消えていきました。

また、集団で行動することの大切さを学ぶことができました。特に班別自主行動では、たくさんの人混みの中をずっと歩いたので、途中はぐれそうになることがあり、集団行動の難しさを改めて知ることができました。

日本と台湾の食べ物や文化の違いもこの修学旅行で知ることができました。学校交流では、台湾の学生の方々とコミュニケーションをとることができました。一緒に写真を撮り、会話する事で、国境を越えることができたような気がしました。

私がこの修学旅行で、国が違う人たちと、言葉が通じなくても、上手くコミュニケーションを取っていきました。たくさんの人たちが「謝謝」と言っていました。ありがとうという言葉は、本当にステキな言葉だと改めて感じました。台湾の街は日本と違い、商店街がずっと並んでいました。そして、車の走る向きが、日本と逆ということを知りました。台湾は日本よりも、少し不便でした。トイレにはトイレットペーパーがなかったり、お箸の先が丸く食べにくかったりしました。そう思うと、日本はとても生活しやすく、環境が整っていると感じることができました。初めて海外に行き、その地域の文化や食、雰囲気を感じることができて、海外修学旅行に行けて良かったと思いました。グローバル社会が進んでいるので、他の国にも目を向けていきたいです。



新・旧生徒会執行部

生徒会執行部役員任命式が令和2年1月8日(水)に本校体育館で行われました。新生徒会長の中瀬(2年)さんが全校生徒の前で今後の抱負を語りました。その後、校長先生から新四役の任命状交付が、生徒会長の中瀬さん、副会長の森くん、庶務会計委員長の鴨田くん、庶務会計副委員長の友田さんに渡されました。

新生徒会長に任命された中瀬さんに、生徒会長としての意気込みをインタビューしました。

— 生徒会長としてどのようなことに取り組もうと考えていますか。

中瀬 私は、部活動や検定試験など、1年間を通して多忙を極めるみなさんが、今までより更に高校生活を楽しむことが出来るようなものを計画し、実行したいと思っています。例えば、仲を深めるための遠足です。

— 様々な取り組みの中で、不安はありますか。

中瀬 生徒会役員の方だけでは難しいことの方が多いと思います。その時には、先生方やみなさんの力をお借りして、実現させていきます。どうぞ、1年間よろしく願ひ致します。

旧生徒会役員のみなさん
1年間お疲れ様でした！
新生徒会のみなさん
熊商発展のために頑張れ！



← 旧生徒会のみなさん

新生徒会のみなさん →

